



# 学校だより 6月号

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/rvokuenhigashi/>

泉区緑園五丁目28番

TEL (811) 6710

学校長 副島江理子

## 熱い思い

～「一人ひとりが大きく輝く運動会」～

21日の運動会では、早朝よりたくさんの保護者・地域の皆様にご参観をいただきましてありがとうございました。当日は爽やかな「五月晴れ」となり、子どもたちの姿がより晴れ晴れと目に映りました。

また、終了後の後片付けでは、例年以上にたくさんの保護者の皆様にご協力をいただきました。児童数が少なくなる中で、より多くの方々にお手伝いをいただきましたことは本当に心強いことでした。

また、今年度は、新しい取組として、岡津中学校の子どもたちに手伝いをお願いして、当日の用具係の補助をしてもらいました。また、キッズクラブ「よろいサークル」の子どもたちが、地域の方々にご指導を受けながら製作した紅白のよろいを、高学年の騎馬戦で大将が身に付けて競技を盛り上げました。

小規模になっていく緑園東小学校を、保護者の皆様も地域の方々も中学校も支えてくださったからこそ、今年の運動会が楽しく盛り上がり、無事に終えることができたのだと心より感謝を申し上げます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

全学年2クラスとなった今年度は、開会式でもお話をしたとおり「人数が少ない分、一人ひとり、自分を大きく見せよう！」と全校児童に呼びかけました。初めての試みとして、徒競走の際に一人ひとりの名前を呼んで走っている姿に注目してもらうようにしました。また、オープニングやエンディングのセレモニーでは、要所で代表の子どもたちがマイクに頼らずに自分の声で思いを伝えるようにしました。

当日の子どもたちの様子を見て、394名の熱い思いがあったからこそ、このような取組も生きたのだとつくづく思いました。徒競走では名前を呼ばれて挨拶をする姿にも個性が光り、走ることへの意識が高まったように見えました。他の学年の競技を大声で応援する姿は、昨年度から見られるようになった光景ですが、今年度はさらに応援の声が大きくなりました。得点発表の際の勝った白組の喜び方以上に、負けた赤組の悔しがり方に、緑園東小の子どもたちに秘められた熱い思いを感じました。

(実は、私自身は赤組の姿があまりにも切なくて、同点だったらよかったのに・・・とってしまったのでした。でも「全力で戦って負けたという経験をする 것도大事だ。」という保護者様の感想を聞いて、同点だったらよかったと思った自分を反省しました。)

子どもたち一人ひとりが素晴らしい力をもっています。だからこそ、自信をもち、互いに認め合い、全力を発揮することができるようになってほしいと強く願っています。

最後に、65名という小集団で緑園東小学校の伝統を引き継ぎ、昨年度にも増して力強く楽しい運動会をつくりあげた、最高学年6年生の努力に心から拍手を送りたいと思います。

30日の創立記念式では、6年生代表児童が力強く「最高学年として伝統を引き継ぎ、新しいことにも挑戦していきたい。」と挨拶をしてくれました。

この6年生のもとで、これから先もっともっと緑園東小学校が一致団結し、輝いていくことが楽しみです。これからも子どもたちへの温かい応援をよろしくお願い申し上げます。